

景況調査 結果報告 Vol. 2 ~アンケート期間 H28. 10月~12月~

今回、第2回目となる景況調査の報告をします。前回に引き続き、事業経営のベースとなる「売上」に注目し、全国の調査結果と鳥栖の調査結果をDI値にて比較しました。

景況調査（売上額DI結果）全国版

	7-9月	10-12月	前期差
製造業	▲16.2	▲16.1	0.1
建設業	▲11.0	▲12.5	▲1.5
卸売業	▲16.4	▲20.0	▲3.6
小売業	▲27.0	▲25.6	▲1.4
サービス業	▲15.2	▲15.6	▲0.4

注目ポイント



建設業、卸売業、サービス業は前期と比べるとマイナスとなりました。
製造業、小売業は前期からわずかにDI値の伸びが見られます。

景況調査（売上額DI結果）鳥栖版

	7-9月	10-12月	前期差
製造業	0	▲20	▲20
建設業	▲50	▲25	25
卸売業	00	▲66.7	▲66.7
小売業	▲28.6	▲33.3	▲4.7
サービス業	▲18.2	20	38.2

注目ポイント



製造業、卸売業、小売業は前期と比べるとマイナスとなりました。
建設業、サービス業は前期からDI値の伸びが見られます。

●景況調査とは・・・

中小企業、小規模企業の景況を把握し、資料や情報の収集の為に四半期毎にアンケート方式で実施しています。

◇調査期間・・・平成28年10月～12月

◇調査対象数・・・鳥栖市内小規模事業 28事業所

◇業種・・・製造5、建設4、卸売3、小売6

サービス10 計28事業所

※小規模事業とは、商業・サービス業では 従業員5名

以下、それ以外の業種は20名以下の企業をいう。

●DI値とは・・・

ゼロを基準として、プラスの値は上向き傾向を表し、マイナスの値は下向き傾向を表します。

DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの割合)

《対策》

当初HPに「お客様から求められる商品・サービス」というテーマで【商業界10月号特大号P110 商人の母】【商業界11月号 P10～P13 お値打ちの創り方】を参照記事として掲載しております。事例を使った内容とポイントを押さえた、分かりやすいものとなっております。

サービス向上に繋げてみてはいかがでしょうか？是非ご覧ください！！

URL → <http://www.tosucci.or.jp/>



会議所からご提案です。

是非、ご覧ください！

